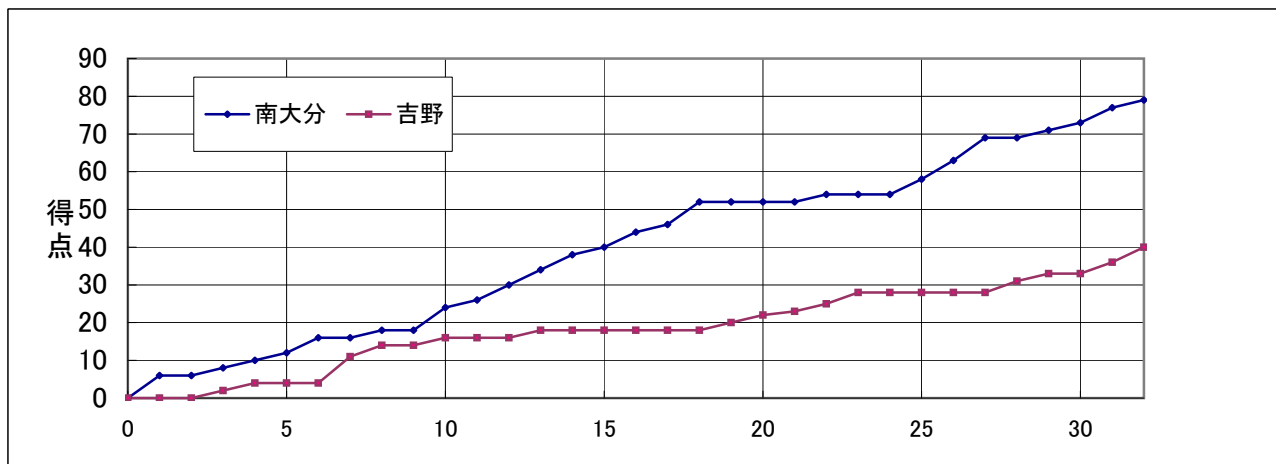


大会名	平成21年度 第30回全九州中学生 バスケットボール春季選手権大会	D4	13:30	女子1回戦													
		南大分 79 (大分1位) ○	<table border="1"> <tr><td>18</td><td>—</td><td>14</td></tr> <tr><td>26</td><td>—</td><td>4</td></tr> <tr><td>10</td><td>—</td><td>10</td></tr> <tr><td>25</td><td>—</td><td>12</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	18	—	14	26	—	4	10	—	10	25	—	12	—	—
18	—	14															
26	—	4															
10	—	10															
25	—	12															
—	—	—															
期日	2010年(平成22年)3月13日(土)																
会場	コンパルホール																

主審 管克彦

副審 木下沙織



タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
—	—	—	—

南大分

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 足立 結唯	12	0	5	2	0
5	* 後藤 優	17	1	6	2	2
6	* 毛利 葉月	6	0	3	0	2
7	* 井上 春佳	32	0	15	2	1
8	平 迫 蒼	0	0	0	0	3
9	近藤 有紗	—	—	—	—	—
10	瀬山 楓	0	0	0	0	2
11	吉田 真弓	0	0	0	0	1
12	後藤 優飛	4	0	2	0	0
13	* 芳山 愛実	4	0	2	0	2
14	児玉 樹里	—	—	—	—	—
15	藤 柴 愛	—	—	—	—	—
16	下高 美咲	2	0	1	0	1
17	八尋 加那子	2	0	0	2	0
18						
コーチ	瀬山 英則					
合計		79	1	34	8	14

タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
05:46	11:36	26:35	—

吉野

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 須田 彩華	9	0	3	3	3
5	* 佐藤 奈々美	19	0	7	5	4
6	* 奥 彩歌	3	0	0	3	0
7	* 郷原 理子	8	2	1	0	1
8	* 田尻 佳奈	0	0	0	0	1
9	南田 遥希	1	0	0	1	1
10	深道 奏美	—	—	—	—	—
11	堀之内 美里	0	0	0	0	1
12	松下 晴菜	—	—	—	—	—
13	山口 愛	—	—	—	—	—
14	中村 真悠	—	—	—	—	—
15	大村 優理絵	—	—	—	—	—
16	林 朋佳	—	—	—	—	—
17	新留 茉那	—	—	—	—	—
18	北原 可南子	—	—	—	—	—
コーチ	厚地 勝博					
合計		40	2	11	12	11

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

1Q ティップオフ後は地元南大分ボールでゲームが始まる。両チームともマンツーマンで様子うかがう。開始後は南大分#6毛利のリバウンドシュート、さらに、スティールから#5後藤・#4足立のレイアップシュートによる3連続得点で試合が動き出す。その後は、吉野は#5佐藤のインサイド、#4須田のドライブで入れ返す。両チームともシュートが決まらずにミスが続くが、次第に南大分#7井上・#4足立による連続得点などで点差を徐々に広げ、最大で12点差まで広げる。残り2分で吉野はタイムアウトを取る。その後は吉野もベースを掴み、吉野#7郷原の3Pなどで反撃をし、18-14の南大分リードで終了する。

2Q 吉野のスローインでスタート。南大分が厳しいディフェンスからボールを奪い、#7井上・#4足立が得点を重ねる。開始後4点しか取れていない吉野はたまたまに、残り4分以上あるが2回目のタイムアウトを取る。タイムアウト後も南大分は厳しいディフェンスを続け、#5後藤・#4足立さらに#7井上のインサイドで差を広げていく。吉野も外からのシュートを打つが、南大分のプレッシャーにしっかり狙うことができない。ディフェンスからベースを掴んだ南大分が44-18でリードをさらに広げて前半を終了する。

3Q 後半に入っても南大分の厳しいディフェンスからの攻めが続き、ボールを奪ってからの速攻などで、4連続得点をあげる。得点のなかった吉野も#5佐藤のリバウンドシュートを皮切りに、#4須田のシュート、#9南田のフリースローで点差をつめにかかる。南大分の選手交代などにより、ディフェンスが甘くなった隙を突き、吉野は#4須田・#5佐藤を中心にゴールを狙う。しかし、前半の得点差が響き、54-28で南大分が26点リードのまま終了する。

4Q 3Q10-10の同点で終わった南大分は、出だしからスターティングメンバーに戻し、前半同様に自分たちのリズムでゲームを展開する。南大分は#7井上のリバウンドシュート、#5後藤の3Pで得点を重ねていく。南大分#13芳山のスティールからの得点で67-28になったところで、吉野はタイムアウトを取り、悪い流れを変えようとする。その後、吉野は#4須田・#5佐藤を中心に南大分の厳しいディフェンスに立ち向かい、リングを狙う。最後はスターターを下げる余裕のあった南大分が、79-43で勝利した。リバウンド力・ディフェンス力に勝る南大分が、2回戦に駒を進めた。点差が開きながらも最後までボールを追い、シュートを狙い続けた吉野のさわやかさが印象的だった。

記事者	久恒、井上 (所属) 大分県バスケットボール協会
-----	--------------------------